

福岡市立青葉中学校父母教師会

〒813-0025 福岡市東区青葉3丁目7番1号

TEL (092) 691-9386

1 会員数及び会費（平成21年度）

区 分	P会員	T会員	その他の会員	計
会 員 数	388人	25人	0人	413人
一人あたりの会費(年間)	6000円	6000円	0円	

2 収支決算（平成20年度）

収入の部	前年度繰越金 342,566円 年会費 2,673,500円	雑収入 40,424円	計 3,056,490円
支出の部	費 目	支出額	摘 要
	運営費	716,328 円	事務員給料、総会資料代、会議費など
	活動費	809,511 円	広報新聞印刷費、役員会・各種委員会 ・おやじ会活動費、研修費など
	学校後援費	349,605 円	学校行事支援事業費、活動育成費など
	周年積立金	100,000 円	周年行事用
	繰越金	561,894 円	
	その他	519,152 円	慶弔費、負担金、傷害補償掛け金、予備費など
	計	3,056,490 円	

3 設けられている会則・運営細則・会議規則・会計規則等

会則等の名称	制定年月日	要 旨
福岡市立青葉中学校父母教師会規約	平成 2年 4月 1日	施 行
	平成18年 4月 1日	一部改正
福岡市立青葉中学校父母教師会細則	平成 2年 4月 1日	施 行
	平成20年 3月 4日	一部改正

4 発足から今日までの歩み

年 月 日	P T Aの沿革（活動のトピックのみ記載）
平成 2年 4月 1日	福岡市立青葉中学校開校
平成11年11月 6日	創立10周年記念式典開催
平成20年11月17日	福岡市環境行動賞奨励賞受賞
平成21年11月14日	創立20周年記念式典開催
平成21年11月18日	日本P T A全国協議会文部科学大臣表彰受賞

5 地域の概要

青葉校区は福岡市の東の副都心香椎から香椎参道、香椎宮を抜けた丘陵地にある。青葉公園という大きな公園から見下ろすと、青葉小学校・東福岡特別支援学校・青葉中学校と三校が仲良く並び、その下には公民館がひかえているという、一小一中一支援学校の校区である。学校を取り囲むように家が建ち、緑豊かな環境の中に学校は存在する。

本来、広大な多々良小学校・多々良中央中学校の校区の一角であったが、次々に校区が分割し、昭和56年青葉小学校が、平成2年多々良中央中学校より分離した青葉中学校が、地域の熱望によって開校した。「青葉校区」としては昭和60年にできた、まだ若い校区ということになるが、その歴史は古く、近くの多々良地区では縄文・弥生時代の集落跡があり、校区内のみどりが丘でも古墳が発見されている。また、「多々良(羅)」とは足踏み、ふいごの意であり、太宰府の観世音寺や京都の妙心寺の梵鐘はここで作られたとも言われている。

6 組織運営の状況

本PTAは役員会、各種委員会、協力員から構成されており、全ての会員はいずれかに所属するようになっている。委員会は学年、広報、成人教育、地域の各種委員会と、特別委員会として選考委員会からなる。さらに、必要に応じて開催される運営委員会は、役員および各委員会の正・副委員長、校長・教頭・教務、また各委員会の担当教員により構成される。その他、地域委員会を補佐するものとして「青葉おやじの会」がある。

さらに、20年度より委員以外の会員は全て協力員として活動することになった。年間1～2回の協力を原則とし、施行1年目はクラス単位、学年単位でのアンケート希望制を導入したため、希望がかたより、すぐに修正を余儀なくされた。また役員1名を担当とし、学年委員を通じ、協力依頼を行ったが、業務が繁雑になった。21年度はその反省をふまえ、また以前より協力員制度を導入している小学校と同様に、原則としてクラス・学年に同一の協力依頼をすることにした。

生活スタイルが変化する中学校で受け入れられるのかという不安もあったが、小学校での経験もあり比較的受け入れられていると感じている。

施行より日が浅いため、試行錯誤の段階ではあるが、これにより、保護者の学校への参加、委員の負担軽減を図っている。

7 広報活動の状況

運営委員会後、「PTAだより」を発行し、その審議内容や報告事項、また研修会、行事予定等の告知をしながら、活動内容の周知と協力依頼につとめている。協力員制度の導入に伴い、活動後にアンケート等を配り「PTAだより」に反映させている。

また21年度は創立20周年記念誌作成のため休刊したが、PTA広報新聞「青翠」は年2回発行し、PTA活動の広報とともにPTA史を創り上げていく役割を持っている。「青翠」は全会員とともに、地域各種諸団体にも配布し、中学校の地域へのアピールの一助を担っている。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

中総体・新人戦・友愛セール終了後の年3回、部活動に対しての助成を行っている(うち3回目については友愛セール利益の中から支出)。

また夏に生徒会との懇談会をもち、生徒の要望を聞いたものを役員会で検討し、友愛セールの利益を還元している。

さらに、特別会計に積み立てをし、合唱コンクールにあわせて定期的に生徒の参考になるよう演奏会の招致などを行っている。20年度は学校と相談の上、合唱コンクールで使用する「ひな壇」を購入し、寄贈した。

9 成人教育に関する諸活動の状況

人権について講師を招いて講演会・講習会を企画・実施し、内容によっては学校と地域にも参加を呼びかけている。また地域講演会を積極的に利用し、共通理解を得ている。

バスハイクについては、懇親をはかりつつ、社会体験や人権学習を行い、和やかな雰囲気の中での研修の場となっている。

10 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況

地域・小学校・支援学校と連携し、持ち回りで子ども110番会議を開催。「子ども110番」や「ダメ！2人乗り」のプレート設置、校区の危険箇所マップ作りを行っている。毎年夏休みには警察・防犯組合と生徒会との合同防犯パトロールを行い、生徒の呼びかけによる注意喚起や、保護者・おやじの会による夜間パトロールを行っている。

校区内は防犯意識が高く、地域に「自警団」「女性パトロール」「シニアパトロール」等があり、それぞれの時間帯において定期的に活動し、校区の安全とともに、生徒の健全育成を担っている。

11 地域の教育環境の整備に関する活動

本校区には「青葉おやじの会」というものがある。校区においては中学校で先に発足し、防犯パトロール、生徒との交流、友愛セールでの活動などを行ってきたおやじの会であるが、後にできた小学校おやじの会と構成員が重なることもあり、ともに活動を行うようになった。防犯パトロールを通じ、地域の自警団とも連携参加をし、20年度からは「親子と子のふれあいフェスタ」を主催。徐々にPTA活動のみならず、校区の中での役割を持つようになってきている。

また、学校下にある市道は通称「菜の花ロード」と呼ばれ、生徒会と部活動生、保護者で整備し、花を植えている。ここで採取された菜の花の種は、次年分を残し、公民館へ返却、菜たね油を取り出し、アロマランプや灯明まつりの際に使用されている。

さらに校区のコミュニティ会議をはじめ、各種会議に出席し、地域団体と情報を共有し、校区全体で生徒の健全育成に対する協力を得ている。

12 今後の課題

青葉中学校は開校して20年の若い学校である。住宅地という落ち着いた環境の中、一小一中一支援学校という特性を活かし、互いに連携をとりつつ、地域とも丁寧に付き合う。その中で社会性を身につけ、心豊かな生徒の健全育成をはかっている。

社会環境が刻々と変化する中、PTA活動においても変化をおそれず、効率的で参加しやすい、より顔の見えるPTA、人と人とのつながりを大切にするPTA活動をしていきたいと考えている。